

令和 8 年度 第 5 回美里地域会議 会議録

日 時：令和 8 年 8 月 日（木）午後 7 時～8 時

場 所：美里交流館 2 階 中会議室

出席者：＜地域会議委員＞加藤 智江、小林 健一、清水 幸男、鈴木 智映子、
鈴木 美喜世、高橋 重樹、手嶋 英之、野村 耕一、
原 淑子、渡邊 慎大

（欠席）吉本 勝

＜高橋支所＞ 前田支所長、太田副支所長、河野主査

＜内容＞

1 豊田市民の誓いの唱和

2 会長挨拶

3 提言の日程について

第 7 回地域会議において実施する市長への提言について、市長のスケジュールの都合により、本来の会議日程である令和 8 年 10 月 8 日（木）ではなく、10 月 9 日（金）に実施することを事務局から説明し、委員の了承を得た。

4 美里地域会議提言書（第 2 案）の内容確認

事務局から提言書（第 2 案）を提示し、内容について意見交換を行った。

【意見一覧】

（1）「2 現状と課題」欄

- ・「地域活動に関心や参加意欲があっても～」という課題について、今後の事業を検討する上で、特に重要な課題として捉える必要があるとの意見があった。
- ・地域会議として課題解決に取り組むことが分かるような表現を加えてはどうかとの意見があった。

（2）「3 提言の内容」欄

①高齢者支援と地域参加促進の情報誌の発行

- ・掲載情報に「ボランティア」を加えてはどうかとの意見があった。
- ・「地域での見守りや支え合いにつながる」という表現について、情報誌の発行という取組の趣旨とは若干異なるように感じるため、別の項目など、より適した箇所に記載してはどうかとの意見があった。
- ・「地域での見守りや支え合いにつながる」という表現はやや重い印象があるため、「コミュニケーション」などの表現に置き換えてはどうかとの意見があった。
- ・「見守りや支え合い」という表現は、高齢者を支援される側、すなわち弱者として捉えているような印象を与える一方、「コミュニケーション」という表現であれば、さまざまな意味を包括し、高齢者と若い世代が対等な立場に関わる印象を持たせることができるとの意見があった。
- ・一方で、高齢者福祉に関する提言であることを踏まえると、「見守りや支え合い」という表現は適しているとの意見もあった。

②高齢者支援と地域参加促進の地域会議フェスタ（仮称）の開催

- ・「考える機会」を「考え、行動する機会」とし、実際の行動につなげる趣旨を加えてはどうかとの意見があった。

③高齢者の孤独・孤立を防ぐ地域交流と継続的な地域活動の推進

- ・既存団体だけでは解決が難しい課題について、その克服を目指す趣旨を盛り込んではどうかとの意見があった。
- ・「ふれあいサロンなど気軽に集える場の充実」を取組の最初に記載し、「新設や充実を進める」としてはどうかとの意見があった。

(3)全体について

- ・重要なキーワードを下線や「」等で強調してはどうかとの意見があった。
- ・「要支援・要介護認定を受ける前の高齢者」という表現を、意味を損なわない範囲で簡潔にしてはどうかとの意見があった。
- ・「自治区」というキーワードを加え、自治区として取り組める内容を検討・提案してもらえるようにしてはどうかとの意見があった。
- ・令和9年度に全事業を実施することは難しいため、地域会議として優先して進める事業を整理する必要があるとの意見があった。
- ・情報誌について、今後予定している地域団体の活動紹介や参加者募集、各地区の取組等だけでなく、現在実施されている活動についても情報発信することで、住民が地域活動を知り、参加するきっかけづくりにつながるのではないかと意見があった。

以上の意見を踏まえ、事務局において提言書（第2案）を再度整理し、次回会議で確定版を提示することを説明し、委員の了承を得た。

5 提言当日の流れについて

提言当日は、以下の流れで進行する予定である。

- (1) 市長へ提言書を手交
- (2) 市長から提言内容についての質問・意見
- (3) 提言内容やその他の事項について、委員から市長への意見・要望等の発言
- (4) 議員からの講評（議員が出席された場合）

(3) について、発言内容、発言者、発言順等を事前に調整する必要があるとの意見があった。

次回の会議で発言内容等を調整することとし、各委員に対し、市長への意見・要望等がある場合は、次回会議までに内容を整理しておくよう事務局から説明した。

6 事業規模について

- ・情報誌について、次年度の予算要求に向け、どの程度のページ数とするか検討していることを事務局から委員に説明した。協議の結果、予算要求の段階では一定のページ数を確保し、ある程度の情報量を持たせた情報誌を作成する想定で進めることとした。
- ・地域会議フェスタ（仮称）について、既存のイベントに出展する形式とするか、単独のイベントとして実施するかは未確定であるが、協議の結果、次年度の予算要求の段階では、単独のイベントとして実施し、イベント企画事業者に運営を委託する可能性を含めて進めることとした。

7 事務連絡

(1) 第6回美里地域会議

- ・日時 令和8年9月10日（木）午後7時～
- ・場所 美里交流館 2階 中会議室